

地形・地質

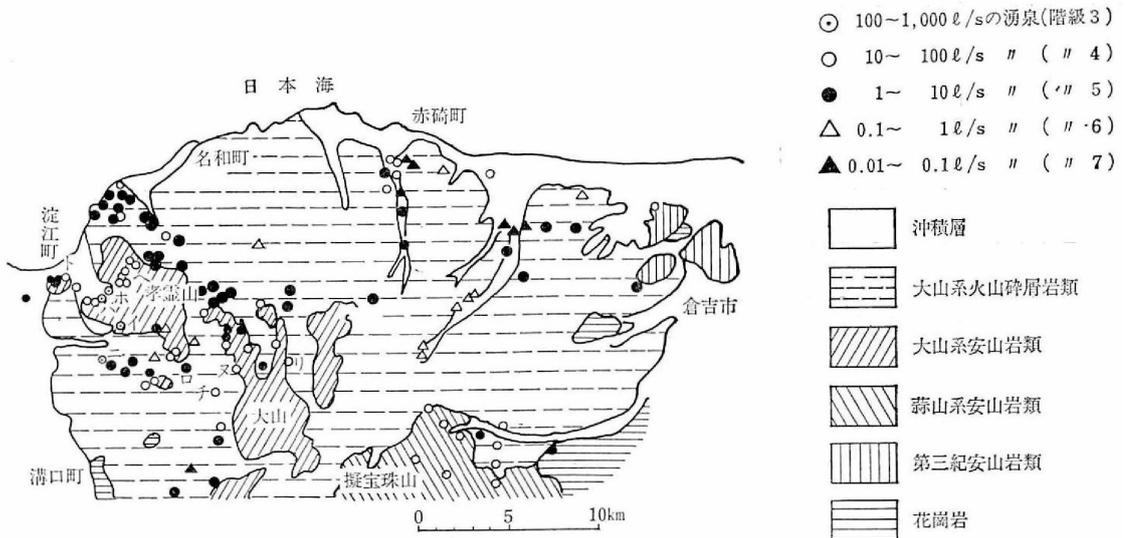
大山は中国山地の北部，日本海と接するところにあります。大山の地形は，火山山麓と山地に大別されます。火山山麓には大山系の火山碎屑岩類（火山灰と軽石の互層からなる大山火山灰層と大山凝灰角礫岩層）が分布します。

大山火山山麓の層序

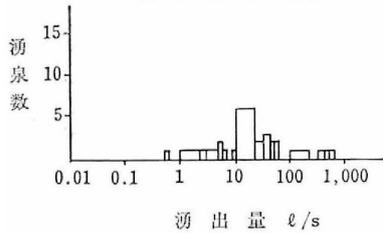
時代	大山東部	大山西部		
完新世	新砂丘 2		沖積平野	
	新砂丘 1			
更新世	大山上部火山灰 17,000±400年 (¹⁴ C)		低位段丘	
	中山砂礫層	岸本礫層		
	大山中部火山灰 30,200±3,500年 (¹⁴ C)		中位段丘	
	弓原古砂丘	上神粘土 湯山砂層		
	新世	大山下部火山灰		高位段丘
		由良砂礫層		
大山最下部火山灰				
鮮新世	駄経寺礫層	御来屋礫層		
	東伯凝灰角礫岩	溝口凝灰角礫岩		
		蒜山原層		
鮮新世	三朝層群（火山岩類） 6.39×10 ⁶ 年（K-Ar）			

地下水

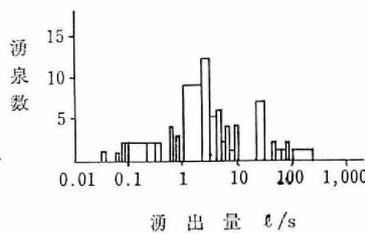
大山系火山碎屑岩類の湧泉は、火山山麓に分布します。浅井戸は谷底低地では河床堆積物中の不圧地下水を、火山山麓では大山火山碎屑岩層の不圧地下水や宙水を得ています。深井戸は御来屋砂礫層と呼ばれる更新世下部層の被圧地下水を得ています。



① 大山系安山岩類の湧泉



② 大山系火山碎屑岩類の湧泉



大山の湧水分布

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）